

感染制御

- ___ 1)院内感染防止対策について理解する
 - ___ ・標準予防策(手指衛生、個人防護具)を適切に使用できる
 - ___ ・医療廃棄物やゴミの廃棄について適切な取り扱いを理解し実践できる
 - ___ ・針刺し事故防止や事故発生時の対応ができる
 - ___ ・代表的な感染症の予防策と適切な消毒薬を選択でき、その理由を説明できる

- ___ 2)院内感染に関するチーム活動(ICT、AST)の役割を理解する
 - ___ ・薬剤感受性検査、経験的治療について説明できる
 - ___ ・感染症症例において適切な抗菌薬の選択ができる
 - ___ ・特定抗菌薬使用に関する届け出について説明できる

TDM

- ___ 1)薬物血中濃度の測定(抗てんかん薬等、維持用量が定められている薬)の原理を説明できる
 - ___ ・TDMの意義及び一般的な対象薬を理解し、自院で扱うTDM対象薬を説明できる
 - ___ ・自院でのTDM業務の流れ(オーダー、採血、測定、解析、治療へのフィードバックなど)を説明できる
 - ___ ・TDMを行う際の採血ポイント、試料の取り扱い、測定法について説明できる
 - ___ ・血中濃度に影響を与える因子について例を挙げて説明できる

- ___ 2)医師に対して、TDM・処方設計支援(薬剤の投与計画策定支援)を行い、コメントを添えて医師に報告書を提出することができる
 - ___ ・使用頻度の高いTDM対象薬剤(VCM、TEICなど)の初回投与量・維持投与量の算出・処方提案ができる
 - ___ ・個別の患者情報(遺伝的素因、年齢的要因、臓器機能など)と医薬品情報をもとに、薬物治療を計画・立案できる
 - ___ ・高齢者における薬物動態と、薬物治療で注意すべき点を考慮した薬学的管理を実践できる
 - ___ ・肝機能・腎機能低下時における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を考慮した薬学的管理を実践できる
 - ___ ・低出生体重児、新生児、乳児、幼児、小児における薬物動態と、薬物治療で注意すべき点を考慮した薬学的管理を実践できる